

2010年度第1四半期
決算説明資料

2010年8月3日

旭化成株式会社

1. 2010年度第1四半期実績

主要決算数値 P4

連結損益計算書 P5

連結貸借対照表 P6

連結キャッシュ・フロー計算書 P7

セグメント別売上高・営業利益 P8～10

2. 2010年度上期予想

2010年度上期の業績予想 P12

セグメント別売上高 P13

セグメント別営業利益 P14

3. 参考資料

特別損益 P16

セグメント別業績推移 P17～18

セグメント別概況 P19～27

1. 2010年度第1四半期実績

主要決算数値

(億円)

	09年度		10年度		1Q実績(対前年同期)	
	1Q	上期	1Q	上期 (予想)*	増減額	増減率
売上高	2,893	6,586	3,535	7,920	642	22.2 %
営業利益	-3	180	228	315	232	-
経常利益	-17	151	207	310	225	-
四半期純利益	-17	42	93	130	110	-

* 2010年5月時点の予想。

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	33,300	37,250	49,700	50,000
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	97	95	92	90

	10/3月末	10/6月末	増減
総資産	13,689	13,907	218
自己資本	6,333	6,283	-50
有利子負債残高	2,646	2,786	140
D/Eレシオ	0.42	0.44	0.02

連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、単位億円)

	09年度1Q	10年度1Q	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 2,893	100.0% 3,535	642	22.2
売上原価	77.8% 2,252	74.3% 2,625	373	16.6
売上総利益	22.2% 642	25.7% 910	269	41.8
販管費	22.3% 645	19.3% 682	37	5.7
営業利益	-0.1% -3	6.5% 228	232	-
営業外損益	-14	-21	-7	
(内、金融収支)	(2)	(4)	(2)	
(内、持分法投資損益)	(-6)	(4)	(10)	
(内、為替差損)	(-5)	(-23)	(-18)	
経常利益	-0.6% -17	5.9% 207	225	-
特別損失	-13	-69	-57	
税前利益	-1.0% -30	3.9% 138	168	-
法人税等	12	-41	-53	
少数株主損益	1	-4	-5	
四半期純利益	-0.6% -17	2.6% 93	110	-

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	10/3月末	10/6月末	増減		10/3月末	10/6月末	増減
流動資産	6,604	6,975	371	負債	7,242	7,506	264
現金及び預金	939	873	-66	流動負債	4,348	4,713	364
受取手形及び売掛金	2,389	2,562	173	固定負債	2,894	2,793	-100
棚卸資産	2,511	2,795	284	純資産	6,447	6,401	-46
その他	765	745	-20	株主資本	6,129	6,154	25
固定資産	7,085	6,932	-153	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,475	4,431	-44	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	347	334	-12	利益剰余金	4,321	4,346	25
投資その他の資産	2,263	2,167	-97	自己株式	-20	-20	-0
				評価・換算差額等	205	129	-76
				少数株主持分	113	118	5
資産合計	13,689	13,907	218	負債純資産合計	13,689	13,907	218

連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	09/1Q	10/1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	-28	18
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-242	-162
フリー・キャッシュフロー③(①+②)	-270	-144
財務活動によるキャッシュ・フロー④	37	59
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	3	3
現金及び現金同等物の減少額⑥(③+④+⑤)	-231	-82
現金及び現金同等物の期首残高⑦	981	931
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	4	9
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	754	858

セグメント別売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益		
	09/1Q	10/1Q	増減	09/1Q	10/1Q	増減
ケミカル	1,329	1,784	454	22	153	131
住宅	585	645	60	-30	-9	20
医薬・医療	285	287	2	31	33	3
繊維	224	265	41	-15	12	27
エレクトロニクス	315	409	94	-6	52	58
建材	116	110	-6	-0	3	4
その他*	39	35	-4	4	3	-1
消去又は全社	-	-	-	-10	-20	-10
合計	2,893	3,535	642	-3	228	232

* 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10/1Qより「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別売上高増減要因(09/1Q vs. 10/1Q) **AsahiKASEI**

(億円)

	09/1Q	10/1Q	数量差	売値差	その他差		計
					うち為替因		
ケミカル	1,329	1,784	115	251	-16	89	454
住宅	585	645	29	10	-	21	60
医薬・医療	285	287	-4	-8	-5	14	2
繊維	224	265	51	0	-2	-10	41
エレクトロニクス	315	409	135	-42	-4	0	94
建材	116	110	-5	-1	-	0	-6
その他*	39	35	-4	0	0	0	-4
合計	2,893	3,535	317	210	-27	114	642

* 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業利益増減要因(09/1Q vs. 10/1Q) **AsahiKASEI**

(億円)

	09/1Q	10/1Q	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	22	153	29	251	-16	-149	131
住宅	-30	-9	6	10	-	4	20
医薬・医療	31	33	4	-8	-5	7	3
繊維	-15	12	14	0	-2	13	27
エレクトロニクス	-6	52	65	-42	-4	35	58
建材	-0	3	-0	-1	-	5	4
その他*	4	3	-1	0	0	-0	-1
消去又は全社	-10	-20	-	-	-	-10	-10
合 計	-3	228	117	210	-27	-96	232

* 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10/1Qより「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

2. 2010年度上期予想

2010年度上期の業績予想

(億円)

	09年度			10年度上期予想			増減 b-a	10年度上期 当初予想*	増減 b-c
	上期 a	下期 b	計	1Q	2Q 予想	b			
売上高	6,586	7,749	14,336	3,535	4,355	7,890	1,304	7,920	-30
営業利益	180	397	576	228	292	520	340	315	205
経常利益	151	413	564	207	273	480	329	310	170
当期純利益	42	210	253	93	137	230	188	130	100

* 2010年5月時点の予想。

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	37,250	45,100	41,175	49,700	43,000	46,350	9,100	50,000	-3,650
為替レート (相場平均:¥/US\$)	95	90	93	92	88	90	-5	90	0

	09年度	10年度上期 (予定)
一株当たり配当金	10円	5円

セグメント別売上高

AsahiKASEI

(億円)

	09年度			10年度			増減 b-a	10/上 当初予想*	増減 b-c
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b			
ケミカル	1,329	1,603	2,933	1,784	2,076	3,860	927	3,910	-50
住宅	585	992	1,577	645	1,095	1,740	163	1,760	-20
医薬・医療	285	278	563	287	293	580	17	590	-10
繊維	224	263	487	265	265	530	43	510	20
エレクトロニクス	315	370	685	409	441	850	165	810	40
建材	116	130	246	110	130	240	-6	250	-10
その他 [†]	39	57	96	35	55	90	-6	90	-
合 計	2,893	3,693	6,586	3,535	4,355	7,890	1,304	7,920	-30

* 2010年5月時点の予想。

† 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	09年度			10年度			増減 b-a	10/上 当初予想*	増減 b-c
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b			
ケミカル	22	93	115	153	167	320	205	155	165
住宅	-30	71	41	-9	94	85	44	70	15
医薬・医療	31	3	34	33	2	35	1	35	-
繊維	-15	-14	-29	12	3	15	44	5	10
エレクトロニクス	-6	34	28	52	43	95	67	75	20
建材	-0	6	6	3	7	10	4	10	-
その他 [†]	4	6	10	3	2	5	-5	5	-
消去又は全社	-10	-17	-26	-20	-25	-45	-19	-40	-5
合計	-3	183	180	228	292	520	340	315	205

* 2010年5月時点の予想。

† 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10/1Qより「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

3. 参考資料

特別損益

(億円)

	09年度1Q	10年度1Q	増減
特別利益	-	-	-
投資有価証券評価損	0	1	1
固定資産処分損	2	11	8
減損損失	1	0	-0
環境対策費	-	6	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	12	12
事業構造改善費用	10	39*	29
特別損失	13	69	57
特別損益	-13	-69	-57

*アンモニア、ベンゼンの生産停止に伴う費用等。

セグメント別売上高推移

(億円)

	08年度*				09年度				10年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	1,950	2,272	1,567	1,104	1,329	1,603	1,590	1,698	1,784	2,076
住宅	637	1,066	1,121	1,275	585	992	960	1,360	645	1,095
医薬・医療	346	282	296	272	285	278	296	273	287	293
繊維	307	334	281	242	224	263	259	266	265	265
エレクトロニクス	396	391	312	198	315	370	374	368	409	441
建材	147	166	167	129	116	130	124	101	110	130
その他 [†]	77	62	54	80	39	57	38	43	35	55
合計	3,860	4,572	3,798	3,301	2,893	3,693	3,641	4,109	3,535	4,355

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業損益推移

(億円)

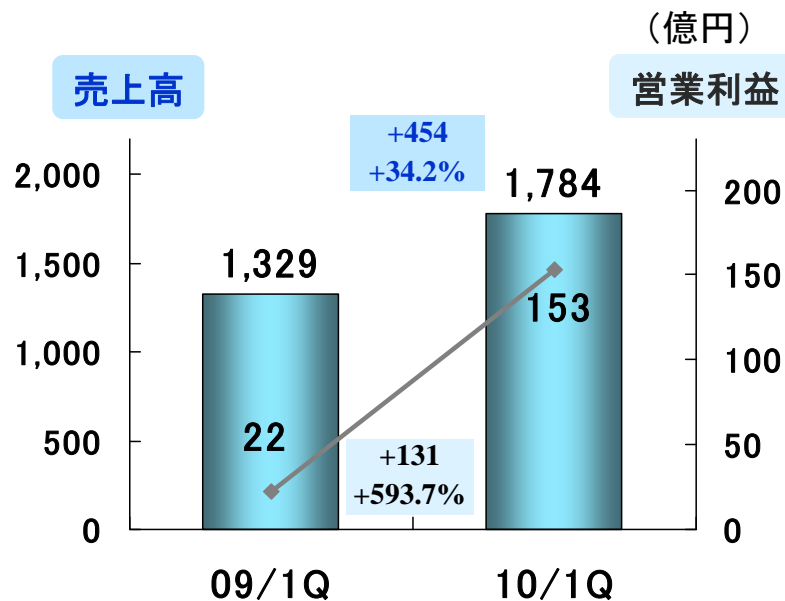
	08年度*				09年度				10年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	62	69	-23	-173	22	93	103	42	153	167
住宅	-37	68	77	111	-30	71	67	145	-9	94
医薬・医療	90	12	28	-9	31	3	29	-23	33	2
繊維	11	2	-5	-22	-15	-14	-0	1	12	3
エレクトロニクス	68	58	12	-66	-6	34	26	18	52	43
建材	3	5	10	-2	-0	6	11	-5	3	7
その他 [†]	13	18	10	15	4	6	1	7	3	2
消去又は全社	-16	-24	-11	-5	-10	-17	-17	-9	-20	-25
合 計	194	207	99	-151	-3	183	220	177	228	292

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

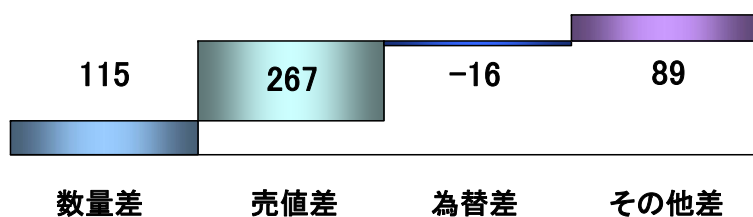
①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポアTM」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナTM」を繊維セグメントへ移管。

† 10/1Q決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10/1Qより「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・汎用系事業

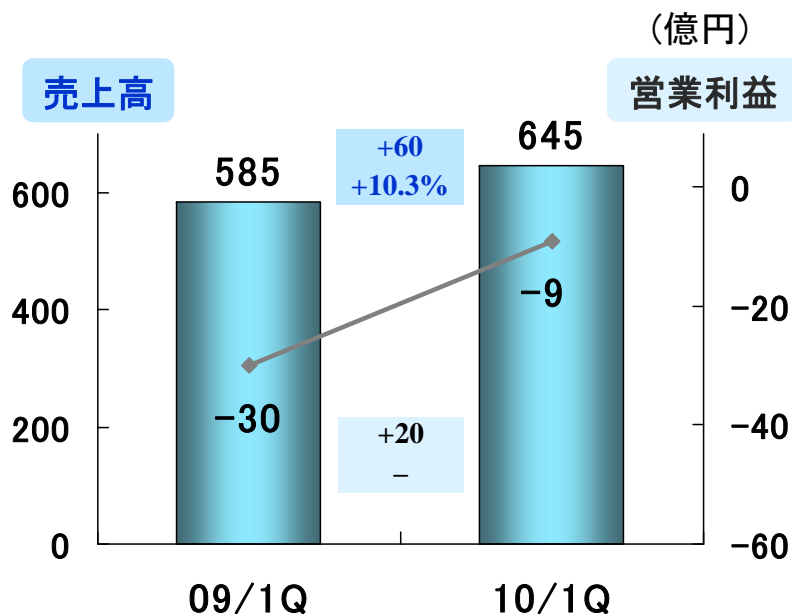
モノマー系事業において、プラントの定期修理の影響があったものの、総じて需要が好調に推移し、アクリロニトリルやアジピン酸などの海外市況が大幅に上昇したことや、ポリマー系事業において、需要回復により自動車や家電向けの販売量が増加し、プラントの稼働率も改善したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

「サランラップTM」などの消費材の販売が好調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・水島地区エチレンセンター統合の共同出資会社を設立し、エチレンセンターの一体運営を開始することについて(株)三菱ケミカルホールディングスと基本合意。(5月)
(2011年4月より共同出資会社事業開始予定。)
- ・中国杭州市のアジア最大の膜式浄水設備に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザTM」の採用が決定。(6月)



事業別増減分析

	09/1Q		10/1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	379		408		29	
分譲	26		46		20	
他	3		4		1	
小計	408	-44	458	-22	50	22
住宅周辺	177	14	187	12	10	-2
合計	585	-30	645	-9	60	20

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出

<概況>

- ・建築請負事業において、昨年度から受注が回復した戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」が好調に推移したことなどから、前年同期比増収、営業損失改善となった。
- ・建築請負事業の受注高は、新商品の発売や政府の住宅取得促進施策の効果などにより、順調に受注を伸ばし、前年同期比16.9%の大幅増となった。

<トピックス>

- ・「孫共育」をキーワードに、親世帯・子世帯が自立しながら交流と協力を促す、新・二世帯住宅「ヘーベルハウス™ i_co_i」(イコイ)を発売。(5月)
- ・家族の住み継ぎを想定した新たな賃貸併用二世帯住宅「ヘーベルハウス™ RONDO」(Rond)を発売。(7月)

住宅／売上高、受注高の状況

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	1Q	764 (▲1.1%)	379 (▲14.6%)	26 (0.0%)	3	408 (▲13.5%)	177 (7.2%)	585 (▲8.2%)	3,211
	2Q	782 (▲2.2%)	780 (▲8.3%)	26 (▲22.2%)	5	811 (▲8.8%)	181 (1.7%)	992 (▲6.9%)	3,213
	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	1,945 (▲4.1%)	375 (1.6%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	3,164 (▲6.6%)	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	1Q	893 (16.9%)	408 (7.7%)	46 (78.1%)	4	458 (12.3%)	187 (5.6%)	645 (10.3%)	3,557
	2Q予	857 (9.6%)	852 (9.3%)	54 (105.3%)	6	912 (12.5%)	183 (1.1%)	1,095 (10.4%)	3,561
	上予	1,750 (13.2%)	1,260 (8.8%)	100 (91.9%)	10	1,370 (12.4%)	370 (3.4%)	1,740 (10.3%)	

* 他: 損害保険販売手数料収入等

<概況>

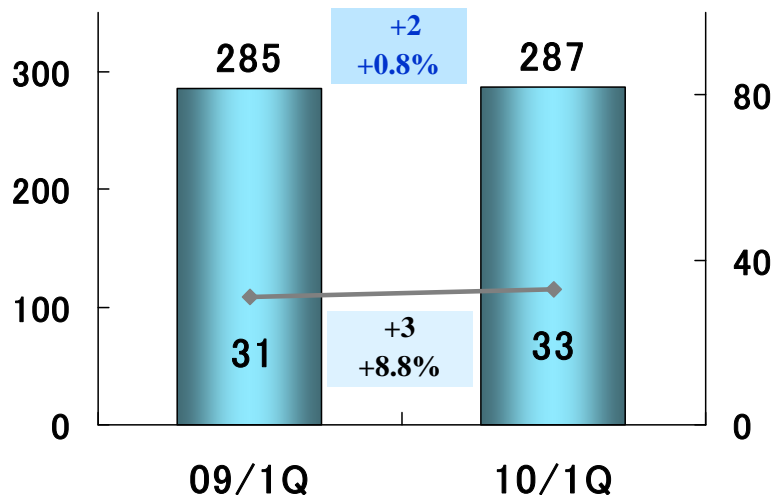
医薬事業は、薬価改定の影響により販売価格が低下したものの、抗血液凝固剤「リコモジュリン™」や排尿障害改善剤「フリバス™」などが販売数量を伸ばした。一方医療事業は、各製品が円高の影響を受け、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売が低調に推移したものの、ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」や血液浄化治療（アフェシス）事業が好調に推移した。以上により、セグメント全体では前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

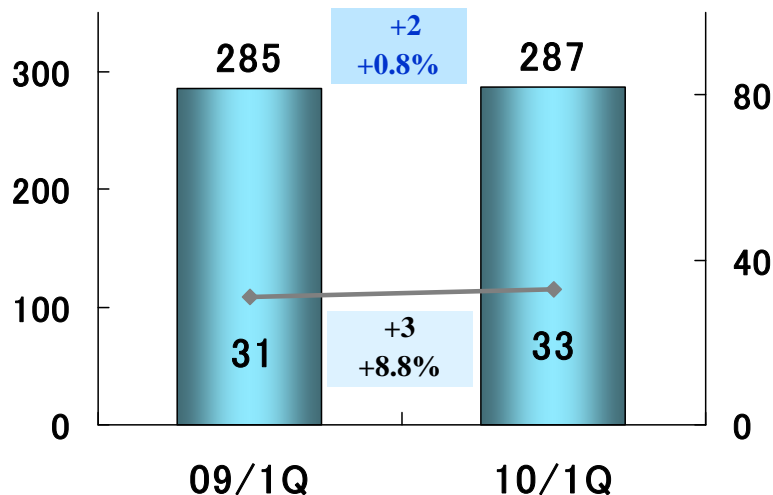
- ・脳梗塞急性期治療薬「AT-877注」の第Ⅲ相臨床試験の開鍵を実施。有効性について期待した成績が得られず。（4月）
- ・「プラノバ™」の組立工場竣工。（5月）
- ・変形性関節症治療薬ポリ硫酸ペントサンの前期第Ⅱ相臨床試験を開始。（5月）
- ・ビスホスホネート剤「ゾレドロン酸」のライセンス契約を締結し、日本における独占的開発・販売権を取得。（6月）
- ・米サーモジェネシス社とのライセンス契約を改訂。自己フィブリン糊調製システムの国内での独占製造権等を取得。（6月）
- ・バイオ医薬品製造向け新商品のポリスルホン中空糸膜「BioOptimal™ MF-SL」を発売。（8月）

（億円）

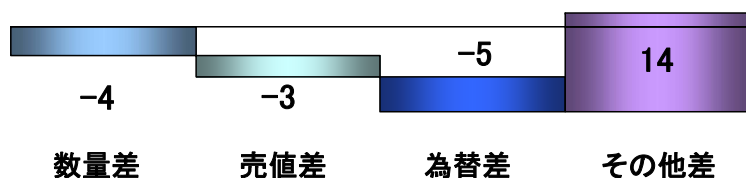
売上高



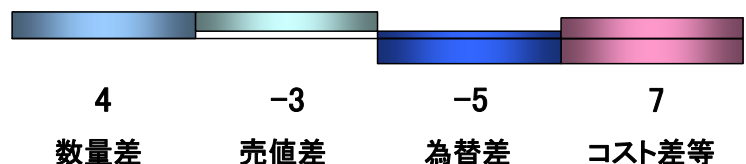
営業利益



売上高増減分析



営業利益増減分析



(億円)

		09年度		10年度
		1Q	上期	1Q
医薬系	医薬	136	267	135
	その他	22	40	19
	計	158	307	154
医療系*		127	256	134
医薬・医療 計		285	563	287

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

<主要医薬品の国内売上高>

	09年度		10年度
	1Q	上期	1Q
エルシトニン™	37	73	34
フリバス™	35	68	35
ブレディニン™	17	33	17
トレドミン™	13	26	9
エリル™	4	7	4
リコモジュリン™	2	5	7

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	脳梗塞急性期
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
	③AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウイルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	適応拡大 剤型追加	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
	②AK150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

探索・基礎研究

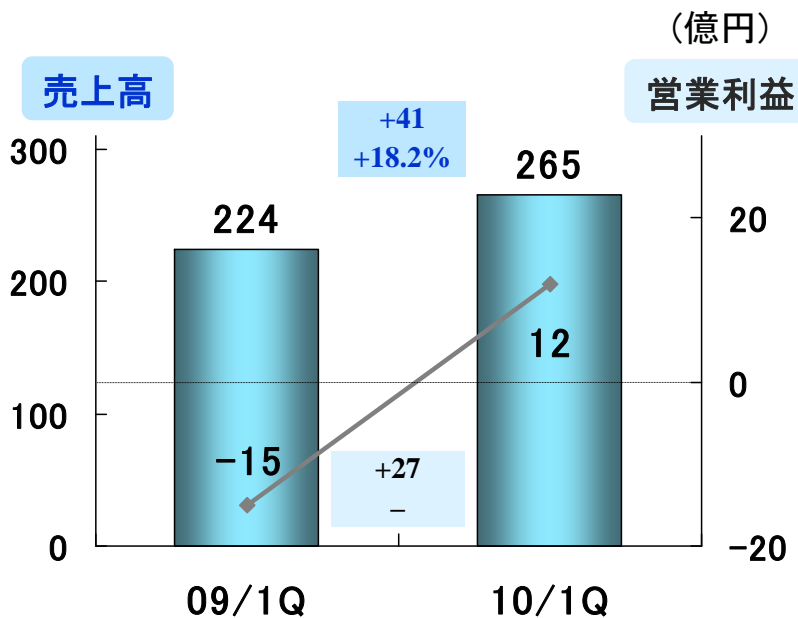
成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ（アンメットメディカルニーズ）」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

<概況>

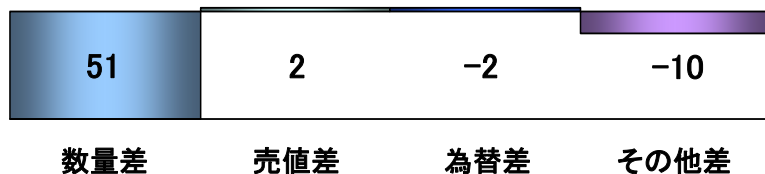
再生セルロース繊維「ベンベルグTM」が国内外で大幅に販売量を伸ばしたことや、ポリウレタン弾性繊維「ロイカTM」やスパンボンドなどの不織布事業、ナイロン66繊維「レオナTM」も需要回復に伴い好調に推移したことから、前年同期比増収、営業損益は黒字転換となった。

<トピックス>

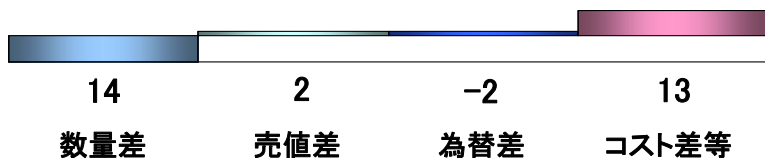
- ・帝人ファイバー(株)との学校体操服の循環型リサイクルプロジェクトの展開。(4月)
- ・電子機器向けに特殊不織布「プレシゼTM」を使用した、薄型・軽量ノイズ抑制シート「PALSH UTTM(パルシャットTM)」の販売を開始。(7月)



売上高増減分析



営業利益増減分析



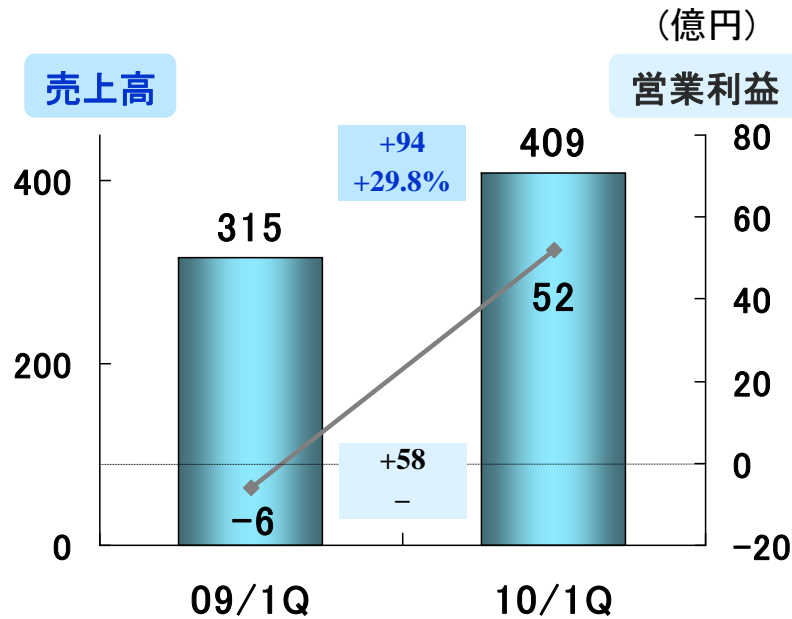
エレクトロニクス概況

<概況>

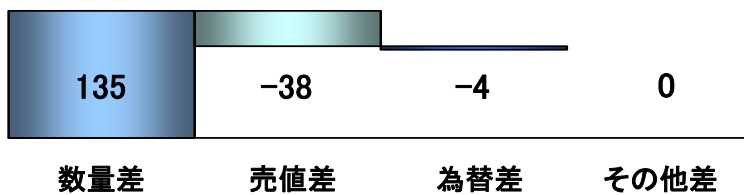
電子部品系事業において、LSI新規用途での販売量が増加したことや、電子材料系事業において、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」や感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」などの販売量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

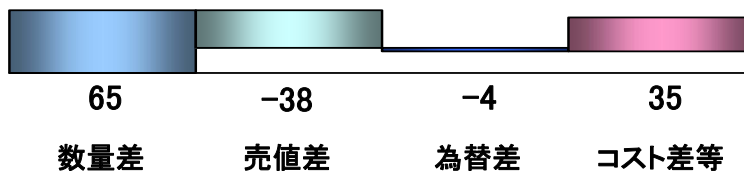
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」の日向での新工場の竣工。(4月)
- ・従来品から2分の1以下の小型化を実現した、携帯機器用3軸電子コンパス新製品を発売。(4月)
- ・旭化成東光パワーデバイス(株)の100%子会社化の前倒しを決定。(7月、10月より100%子会社化)

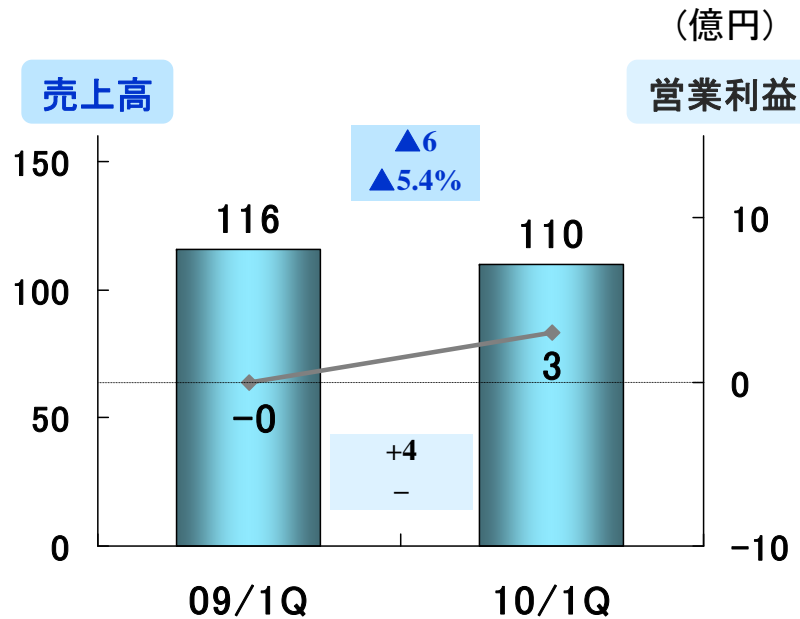


売上高増減分析



営業利益増減分析

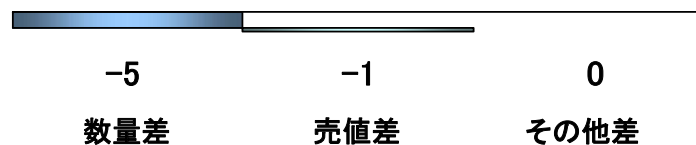




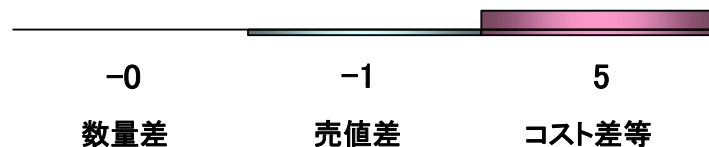
<概況>

建築着工数の低迷により、軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」系製品や基礎杭などの販売量が減少したものの、高性能断熱材「ネオマTMフォーム」などが省エネ政策の追い風等により販売量を伸ばしたことや積極的なコスト削減に努めたことなどから 前年同期比減収、増益となった。

売上高増減分析



営業利益増減分析



業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。